



久保田由夫 ほっと通信



NO. 84
2018. 12. 16
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・フェイスブック・ホームページもご覧ください>



「勇気ある一人の声が国を動かした」(ルーマニア革命)

◆小中学校(35校)への冷房装置設置事業費が16億7700万円計上された。(579教室:12月議会) ◆大規模学校給食センター建設計画は、土屋市長が就任後に市教育委員会に「再検討を依頼」している。 ◆今年3月には上田市長・市議会議員選挙があり、8月には県知事選挙があったが、その結果は徐々に政治を動かしている。 ◆市長選では、金井忠一さんが一番早く立候補を表明。1万食規模の大規模学校給食センターは見直しを訴えた。その後は予想できない展開になった。現職の引退表明、新人2人が立候補表明して三つ巴の選挙戦に。 ◆県知事選は、現職にいつ、だれが挑戦するのか注目され、金井さんが決然と立ち、猛暑の中で文字通り熱い選挙戦に。金井さんが訴えた「リニアよりクーラーを」は、具体化された。 ◆松元ヒロさん(政治ネタを得意とする芸人)が、「勇気ある一人の声が独裁政権の崩壊のきっかけだった」例として、1989年の「ルーマニア革命」の経過をわかりやすく訴えた。15%の人が動けば社会は変わるとも。(松元ヒロ&立川談慶:冬の陣寄席にて) ◆来年は、大きく社会を動かす年にしていきたいと思います。(由夫)



<季節の写真>

今年の初雪は遅いようですが、冬に備えて、待機中!

「担当課を中心に市をあげて、条例制定に向けた検討」(大規模太陽光立地規制)

〇12月議会における久保田議員の一般質問の概要です。

<大規模な太陽光発電施設の立地規制問題>

条例制定に対する市の見解

久保田議員 自治体における条例制定権が大幅に拡大した。大規模な太陽光発電に対する立地を規制する条例制定が必要だが市の見解は。

「改正FIT法により条例制定の意義が大きくなった」

翠川都市建設部長 改正されたFIT法(「固定価格買取制度」)により、条例制定の意義がおおきくなり、精力的に検討している。あわせて、条例制定権が拡大したとしても、立地を規制するには様々な課題があるため土地利用の観点や法律的な見解など専門家との協議を進めているところです。

来年4月からの条例施行はできないか

久保田議員 9月中旬から大沢上流域に計画されているメガソーラー建設に係るアンケート調査との名目で飯沼自治会全戸を訪問調査している業者があり、住民に不安を与えている。このような状況を踏まえて、関係する自治会は、来年4月1日からの条例施行を切望しているが市長の決意は。

「市をあげて条例制定に向けた検討をすすめている」

土屋市長 条例制定については、担当課に加速度的に検討を行うよう指示している。立地を規制する条例には、適正な手続きとプロセス、広く市民の理解を得てすすめる時間も必要です。地元の要望は重く受け止めている。現在、担当課を中心に、市をあげて条例制定に向けた検討に取り組んでいる。

<来年4月1日から新設される「政策研究センター」>

久保田議員 組織改正(案)は、「市長公約の速やかな実現を図るため」とされている。今度新設しようとしている「上田市政策研究センター」ではいつまでに何を推進するのか

土屋市長 私が掲げた7つの挑戦にそれぞれ政策目標があり、優先度が高いものから順次取り組んでいきます。

久保田議員 「上田市政策研究センター」のセンター長は、外部から起用するのか。新たな部をつくるのか、職責はどうなるか。いつまで継続実施するつもりか。

土屋市長 外部起用と庁内を並行してすすめている。部など組織や職責は、早い段階で決めていく。期限は設けていない。

久保田議員 「上田市政策研究センター」は、上田市の政策課題や地域特性を生かした条例の制定につながる組織なのか。政策企画部との仕事の仕分けがつかのか。

神代総務部長 政策課題を検討する中で条例の必要性などを検討することになる。政策研究センターは市長の指示により、政策の調査研究や提言を行う。政策企画部は、提言を市の計画に反映させたり、庁内調整により政策を実行する。

久保田議員 市の人事政策はどうか。

井上副市長 課題は、幹部職員の育成である。多様な人材の活用が一番重要と考えている。これまでも、専門職の採用、30代の民間企業経験者の採用、再任用職員の活用もしてきた。民間企業からの派遣も今後検討していきたい。